

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 15日		2025年 10月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 11月 9日		2025年 11月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 25日		2026年 3月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口と多岐に渡る事業を展開しており、多方面から支援を模索することができる	通所施設の様子を把握し、訪問先での有効的な取り組みは共通化するなど、お子様が混乱しないような配慮をしている	訪問員を児童発達支援・放課後等デイサービスでのチーム制とし、一人で抱えることがなく、様々な角度からの支援となるようにしていく
2	相談支援事業所を併設しており、チーム一丸となりお子さまを中心とした支援体制をはかることができる	相談支援ご利用に希望に対し、相談支援専門員が不足している	雇用後、資格取得の要件を満たしている職員には積極的に資格取得を応援している

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性の必要性が高い事業の為、担える人材に限られている	4月より職員が育ってきているが、基礎知識量にばらつきがある	経験のある職員による研修や細やかな会議を今後も継続して実施し、有益な研修があれば積極的に職員に参加を促す
2	保護者様のニーズと訪問先のニーズに差がある	保護者様と保育所等間での連携が上手く図られていない	今後も施設として、連携を図るための潤滑油となるべく保護者様、保育所等双方の環境を理解した対応を実施してまいります

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援窓口Thank you				公表日	2026年 3月 末日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	0	施設で使用する物を持参したり、学校で使用している物を共有させて頂き、子供が混乱がないようにしている	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		今後、ニーズが増えたら対応できる職員を増やしていく必要がある 訪問日を決定する際の考慮事項が多い
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		担当制になっている為、今後はチームとしての意識を高め、会議の実施を取り入れたい
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎年必ず自己評価を依頼し、お声を頂く機会を設けている また、イベントや交流会の実施もし、後日アンケートの回収も実施している	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		保育所等訪問としての会議はできていない為、次年度は会議の場を設ける
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		実施を検討している
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	自治体や県主催の研修には積極的に参加をしている	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	保育所等訪問の意義に合っているかしっかりと見極めてから支援に入っている	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	訪問前にはお子さま自身の気持ちを聞くなど、見立ての根拠を集めてから作成をしている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	事前にカンファレンスの機会を設けている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	出来上がった計画は全職員が目を通してから保護者様に公開をしている	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		発達過程が分かるツール、ライフスキル、アセスメントツール等導入をしていきたい
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	出来上がった計画は全職員が目を通してから保護者様に公開をしている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	特別時間を設けるのは難しいが、短時間でも声を掛け合い実施はしている 通所療育にて統一した支援を行えるよう会議を行い、情報共有をしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	定期的な会議やミーティングで共有している	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0		訪問先の皆様に完全には必要性を伝えきれていないケースがある	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	実施後は必ず記録を作成し、保護者様、訪問際にもお目通しを頂いている	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	計画更新時には必ず関係者でのカンファレンスを実施し、意向や方向性のズレがないよう確認している	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		必ずしもそうでない場合がある
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	引き続き支援の必要性があるかどうか、就学に際し共有すべき事項をお伝えできるよう、日頃から各場所での様子の共有を日頃からしている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	定期的に各職員研修を受けている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3		参加はしているが、自治体主催の会議は回数が少ない
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	通所支援時にも細やかな情報共有をし、最新の情報を把握するよう努めている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	家族で参加できる交流会を開催し、療育や相談支援に関する情報提供や意見交換の場を提供している	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に読み合わせをし、お伝えをしている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	支援前のカンファレンスにて必ずお伝えをしている	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	完成した計画は必ず保護者、関係機関に確認を頂き相違がないかを確認している	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	面談時以外にも気軽にお話をして頂ける関係性の構築に日々励んでいる	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談支援事業も同施設内で展開しており、フォロー体制を整えている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		十分とは言えない ツールの活用を今後は担当を決め、発信していきたい
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	記録はシステム内で管理し、その他の資料は鍵付き書庫で管理し、閲覧の制限も設けている	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	記録の取扱いはFAXやメールなどはせず、直接内容は伏字を使用し手渡しを厳守している	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	学校の取り組みも尊重しながら、効果的と思われる対応については共有をし、どこにいても子供たちが過ごしやすい配慮を踏まえた助言をしている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		十分とは言えない マニュアルを形骸化せぬよう、普段から活動に取り入れるようにしていきたい
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	安全計画は必ず年度で見直し、作成している施設が商業施設内にある為、警備や防災対策に優れている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	業務報告での起債、詳細は報告書に記載し、定期的に振り返りを実施している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	事業所を超え、社内でチームを作り定期的に研修を実施している	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		